

事務事業名 ちくしの歴史・文化発信事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：694

施策：	06	歴史の継承と文化の振興	財務コード	01090608-03-570
基本事業：	02	歴史学習の機会提供	担当部	教育部
基本事業の成果指標	歴史・文化に関する学習会等に参加した市民の数 歴史・文化に関する体験学習等に参加した児童・生徒の数		担当課	文化財課
			担当係	博物館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民、在勤・通学者、福岡都市圏住民 教育・研究機関 歴史、文化・芸術関係団体			常設展は、通年展示しており、古くから交通の要衝としてさまざまな人やモノの交流があった本市の特徴を生かして「交易と旅」をテーマとし、原始から近代に至る「通史」を展示 企画展は、2回実施 古文書からの伝言其の五「号外が伝える日清・日露戦争」展 「筑紫野市のうつりかわり」展						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			○ロビー展示は、9回実施 日本遺産古代日本の「西の都」のストーリー・発見30年 岡田地区遺跡の古代官道ほか ○学習支援は、主催講座・イベント32回実施、小学校や地域等への職員の派遣24件、博物館ボランティアの活動支援、SNSを活用した「名品選」(X：旧Twitter)による学習情報の発信、小学校への昔の道具の貸出し、パッケージ資料の製作と貸出しを実施						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
問い合わせへの学習支援数		回	619	657	700	700			700
来館者数		人	13,808	15,639	16,000	16,000			16,000
5. コスト									
事業費		計	千円	1,492	1,014	1,835	1,946		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	1.5	1.5	1.5				
正職員人件費		千円	11,723	12,035	12,572				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	13,215	13,049	14,407	1,946			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	令和6年度は、企画展2回、ロビー展9回を実施しました。近隣では珍しい古文書の展示も5回目を実施しました。また、岡田地区遺跡の官道が発見から30年を迎えたことを記念し、記念講演会とロビー展を実施しました。小学校の昔の道具体験を博物館で開催するとともに、昔の道具の貸出しも継続し、学校の事情に応じた学習支援を行いました。SNSで学ぶ歴史と文化事業については、5年目を迎え、郷土の民俗「名品選」をX（旧ツイッター）により学習情報として発信し、また、文化財課職員による歴史講座を全10回実施しました。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	収蔵資料に精通し、多分野の資料を適正に取り扱い、企画展や学習支援が行える博物館学芸員が不在です。また、近世から明治期にかけての文書・古記録を多く有する本市において、それらの目録の作成及び活用ができる博物館職員が必要です。収蔵資料の活用、学習の機会提供を継続して行うためには、専門の知識を有した正規の学芸員の配置が必要です。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性 維持 見直し 廃止 事業終了						
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
常設展については、開館から27年を経過し、映像機器、照明機器及び展示設備に老朽化による不具合が生じ、見学に支障が出ています。常設展のリニューアルに向け検討が必要。			博物館を含む文化財課のホームページをリニューアルし、来館しなくても様々な情報や学習情報を提供できる環境を整えることで、市民の歴史学習の機会を得るための選択肢が増え、また、利便性が高まると考えます。リニューアルに向け検討が必要。当面は、SMSを利用した学習情報の発信や貸出資料のパッケージ化などを今後も検討を重ね進めていきたい。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
これまででは、企画展示や講座等を行い博物館が郷土の歴史や文化について発信することが主でした。近年は、地域のコミュニティが地元の歴史や文化について積極的に事業を展開しており、その支援を行うことが増えています。									